

外岡慎一郎教授年譜・著作目録

学科) 専任教員 (一九〇一三年三月)

一〇〇七年四月 放送大学福井学習センター客員教員 (一

二〇一三年三月)

一九五四年十月 神奈川県横浜市生まれ

一九七三年三月 神奈川県立希望ヶ丘高等学校卒業

一九七八年三月 中央大学文学部史学科(国史学専攻)卒

一九八一年三月 中央大学大学院文学研究科(国史学専攻)

博士前期課程修了

一九八四年三月 中央大学大学院文学研究科(国史学専攻)

博士後期課程単位取得満期退学

二〇一八年三月 中央大学 博士(史学)

【社会的活動歴(学外委員等)】

(現職)

日本古文書学会理事(一九〇〇九年～)

福井県文化財保護審議会委員(二〇一六年～)

福井県南越前町・史跡・山城跡整備検討委員会委員(二〇一二年～)

福井県立若狭歴史博物館協議会委員(二〇二一年～)

福井県敦賀市文化財保存活用地域計画策定委員会委員(二〇一二年～)

福井県立こども歴史文化館運営委員会委員(二〇二三年～)

福井県坂井市龍翔博物館運営委員会委員(二〇二三年～)

一九八四年四月 東京大学史料編纂所非常勤職員(一九八六年三月)

神奈川県立外語短期大学付属高等学校非常勤教員(一九八六年三月)

学校法人敦賀学園・敦賀女子短期大学日本史学科(のち敦賀短期大学地域総合科)

【職歴】

一九七九年四月 東京大学史料編纂所非常勤職員(一九八六年三月)

中央大学 博士(史学)

日本古文書学会理事(一九〇〇九年～)

福井県文化財保護審議会委員(二〇一六年～)

福井県立若狭歴史博物館協議会委員(二〇二一年～)

福井県立こども歴史文化館運営委員会委員(二〇二三年～)

福井県坂井市龍翔博物館運営委員会委員(二〇二三年～)

福井県文書館アドバイザー（二〇二三年）

都府宮津市

福井県小浜市・史跡後瀬山城跡保存活用懇談会委員（二〇二四年）

（過去、おもなもの）

福井県立歴史博物館協議会委員、福井県嶺南地域流域検討
会委員、福井県南越前町・史跡袖山城跡保存活用計画策定
委員会委員、同整備活用計画策定委員会委員、福井県小浜
市・史跡後瀬山城跡保存活用計画策定委員会委員、同整備
活用計画策定委員会委員、福井県敦賀市文化財審議会委員、
敦賀市総合計画教育文化部会委員、敦賀市立図書館協議会
委員

『中世諸国一宮制の基礎的研究』（中世諸国一宮研究会編、
二〇〇〇年、岩田書院）

『今日の古文書学』第三巻・中世（高橋正彦ほか編、二〇
〇〇〇〇年、雄山閣）

『宮津市史』通史編上巻・原始～中世（京都府宮津市、二
〇〇二年）

『街道の日本史』三一・近江若狭と湖の道（藤井譲治編、
二〇〇三年、吉川弘文館）

『久美浜町史』資料編古代・中世（京都府久美浜町、二〇
〇四年）

『わかさ美浜町誌』第一巻「祈る・祀る」（福井県美浜町、
二〇〇六年）

『わかさ美浜町誌』第七巻「記す・遺す」（福井県美浜町、
二〇〇七年）

『わかさ美浜町誌』「ふりかえる美浜」（福井県美浜町、二
〇一〇年）

『越前・若狭 武将たちの戦国』（福井県郷土誌懇談会編、
二〇一三年、岩田書院）

『福井県史』通史編2・中世（一九九五年、福井県）

『宮津市史』史料編第一巻・原始～中世（一九九六年、京

【著書】

（単著）

『武家権力と使節遵行』（二〇一五年、同成社）

『大谷吉継』（二〇一六年、戎光祥出版）

『関ヶ原』を読む（二〇一八年、同成社）

（分担執筆）

【調査報告書等】

員会、二〇一〇年)

『丹後漁業関係古文書目録』（分担執筆、京都府教育委員会、一九九四年）

『鹿王院文書目録』（分担執筆、京都府教育委員会、一九九七年）

『越知神社・劍神社・瀧谷寺文書目録』（福井県白山信仰関係古文書調査報告書）（分担執筆、福井県教育委員会、二〇一二年）

『大音家文書目録』（分担執筆、福井県教育委員会、二〇一九年）

『賀茂別雷神社文書目録』（分担執筆、京都府教育委員会、一〇〇三年）

『伊根浦（伝統的建造物群保存対策調査報告書）』（分担執筆、京都府与謝郡伊根町教育委員会、二〇〇四年）

『大般若経』詳細調査報告書（大飯町龍虎寺）（単著、福井県大飯町教育委員会、二〇〇四年）

『神護寺聖教目録』（分担執筆、京都府教育委員会、二〇〇六年）

「鎌倉時代鶴岡八幡宮に関する基礎的考察」（『中央史学』三号、一九八〇年）
「鎌倉時代における鶴岡八幡宮領の構成と機能」（『日本歴史』四一八号、一九八三年）
「鎌倉幕府指令伝達ルートの一考察」（『古文書研究』二二二号、一九八三年）

『京都府熊野郡久美浜稻葉家資料調査報告書』（分担執筆、京都府教育委員会、二〇〇八年）
『敦賀屋』関係史料調査報告書 I（単著、敦賀市教育委員会、二〇〇八年）

「六波羅探題と西国守護」（『日本史研究』二六八号、一九八四年）
「鎌倉後期の公武交渉について」（『敦賀論叢』一号、一九八六年）

『敦賀屋』関係史料調査報告書 II（単著、敦賀市教育委員会、二〇〇九年）
『敦賀屋』関係史料調査報告書 III（単著、敦賀市教育委員会、一九八八年）

【論文】

「鎌倉～南北朝期の備後・安芸」（『年報中世史研究』一五号、

一九九〇年）

「一四～一五世紀における若狭国の守護と国人」（『敦賀論叢』五号、一九九〇年）

「鎌倉末～南北朝期の守護と国人」（『ヒストリア』一三三号、

一九九一年）

「使節遵行に関する覚書」（『敦賀論叢』七号、一九九二年）

「中世氣比社領の基礎的考察」（『福井県史研究』一一号、

一九九三年）

「中世後期の氣比社領について」（『敦賀論叢』九号、一九

九四年）

「中世の氣比神人とその周辺」（『福井県史研究』一四、一

九九六年）

「使節遵行と在地社会」（『歴史学研究』六九〇号、一九九

六年）

「鎮西探題と九州守護」（『敦賀論叢』一、一九九六年）

「西楽寺相論と中世洪恩院領」（前掲『鹿王院文書目録』、

特論、一九九七年）

「得宗被官論の周縁」（『敦賀論叢』一三号、一九九八年）

「大谷吉繼と敦賀」（『敦賀論叢』一五号、二〇〇〇〇年）

「中世の金津」（福井県教育委員会『福井県歴史の道調査報

告書』I、二〇〇一年）

「中世若狭の市庭」（福井県教育委員会『福井県歴史の道調査報告書』II、二〇〇二年）

「青蓮院坊官大谷家と大谷吉繼」（『敦賀論叢』一七号、二

〇〇二年）

「中世若狭の市庭II」（福井県教育委員会『福井県歴史の道調査報告書』III、二〇〇三年）

「鎌倉幕府と東国守護」（『敦賀論叢』一九号、二〇〇四年）

「中世若狭の市庭III」（福井県教育委員会『福井県歴史の道調査報告書』IV、二〇〇四年）

「中世敦賀津の舛米について」（『敦賀論叢』二〇号、二〇〇五年）

「中世敦賀津の地域構成」（福井県教育委員会『福井県歴史の道調査報告書』VI、二〇〇六年）

「若狭国の賀茂祭と宮河莊」（石川登志雄・宇野日出生・地

主智彦編『上賀茂のもり・やしろ・まつり』、思文閣

出版、二〇〇六年）

「建武政権期の使節遵行について」（『敦賀論叢』二一号、

二〇〇七年）

「村のなかの契約ごと」（坂田聰編『禁裏領山国荘』、高志書院、二〇〇九年）

「歴史手帖・二日酔いの大谷吉繼」（『日本歴史』八二〇号、二〇一六年）

「鎌倉幕府と西国社会」（川岡勉・古賀信幸編『西国の権力と戦乱』、清文堂出版、二〇一〇年）

「天正地震」と越前・若狭」（『敦賀論叢』二六号、二〇一二年）

「越前・若狭の歴史地震・津波・年表と史料」（『敦賀論叢』二七号、二〇一三年）

「史料と展示・「天正地震」の史料を読む」若狭湾に津波は襲来したか」（『歴史学研究』九〇三号、二〇一三年）

「安政東南海地震と敦賀～史料を読む」（敦賀市立博物館紀要）二八号、二〇一四年）

「災害伝承と古文書資料」（『北陸の民俗』三一号、二〇一四年）

「史料紹介・氣比神宮蔵『日次記』」（『敦賀市立博物館紀要』二九号、二〇一五年）

（書評）

「越前敦賀」（仁木宏・綿貫友子編『中世日本海の流通と港町』、清文堂出版、二〇一五年）

「大谷吉継年譜と若干の考察 付関係文書目録（稿）」（敦賀市立博物館紀要）三〇号、二〇一六年）

（森幸夫著『六波羅探題の研究』（『古文書研究』六三号、二〇〇七年）

「大谷吉継の関ヶ原～関ヶ原への途」（『敦賀市立博物館紀要』三二号、二〇一七年）

「敦賀湊と大谷吉繼」（『土木技術』七二巻八号、二〇一七年）

「西福寺文書」二通の「すけつな置文」～再会に寄せて」（『敦賀市立博物館紀要』三三号、二〇一八年）

（桃井雄三家所蔵文書の概要付・個別解説）（『越前町織田文化歴史館研究紀要』五号、二〇二〇年）

「史料紹介・応安貳年四月廿五日 河野辺駿河守某施行状」（『奈良史学』四〇号、二〇一三年）

「史料紹介・明応九年八月十二日遊佐順房・（姓未詳）直賢連署奉書」（『奈良史学』四一号、二〇一四年）

「大谷吉継の家臣とその編成」（『奈良史学』四二号、二〇一五年）

瀬野精一郎著『鎌倉幕府と鎮西』（『史学雑誌』一二二卷三号、二〇一二年）

高橋慎一朗編『列島の鎌倉時代～地域を動かす武士と寺社』（『日本歴史』七六六号、二〇一二年）

西田友広著『鎌倉幕府の検断と国制』（『歴史学研究』九〇四号、二〇一三年）

河村昭一著『南北朝・室町期一色氏の権力構造』（『日本歴史』八三三号、二〇一七年）

黄霄龍著『日本中世の地方社会と仏教寺院』（『歴史評論』九〇五号、二〇一五年）